

2007年12月25日

英領北海油田で新規権益を取得

～英社と共同でダンリン油田群の権益取得で合意～

三菱商事が100%出資する英国子会社2社、エムシーエックス ダンリン UK 社 (MCX Dunlin (UK) Ltd.) 及び、エムシーエックス オsprey UK 社 (MCX Osprey (UK) Ltd.) は、2007年12月21日、英国の独立系石油開発会社フェアフィールド・エナジー社 (Fairfield Energy Ltd. 本社:英国ステインズ市) が100%出資する英国子会社2社 (Fairfield Betula Ltd. および Fairfield Fagus Ltd.) と共同で、英蘭ロイヤルダッチ・シェル子会社の Shell U.K. Ltd、米エクソンモービル子会社の Esso Exploration and Production UK Ltd、ノルウェー国営石油会社スタットオイル子会社の Statoil (U.K.) Ltd、オーストリア国営石油会社 OMV 子会社の OMV (U.K.) Ltd の4社が保有する英領北海北部のダンリン (Dunlin) 油田群権益を取得することに合意しました。今後、英国政府をはじめとした関係機関の承認を以って権益譲渡が完了します。

今回、権益取得合意に至ったダンリン油田群は、英国北部の都市アバディーンから北北東約 500km 沖合のブレント地域、水深約 150メートルに位置しています。当社は北海での事業経験が豊富なスタッフを持つフェアフィールド社と共に本事業に取り組み、追加開発作業の実施や回収率の向上などにより、現在の原油生産量日量約1万バレルから増産を目指します。両社参画後の権益比率はフェアフィールド社子会社70%、当社子会社30%となります。

三菱商事は石油・ガスの探鉱・開発事業を重点戦略分野の一つとして位置づけており、英国北海では、2006年に南部のガス田権益 (Tristan North West ガス田) を取得し、石油・ガス探鉱・開発事業への取り組みを開始しました。今般のダンリン油田群権益取得により同地域での事業基盤を拡充するとともに、その他の西アフリカ、米国メキシコ湾、アジア・オセアニア等の重点地域においても、有望案件の獲得を積極的に推進し、一層の事業拡大を図る方針です。

以上

英領北海【ダンリン油田群位置図】

